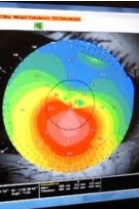




# フジタガンカニュース

Vol.36 2013.9.30



## 眼鏡処方箋の院外対応について-前編-

昨今、安価なメガネを短時間で提供するチェーン店が増えています。Ji〇s、Zof〇、眼鏡〇場などなど…。安いしなんかお洒落だし、他のメガネ屋さんだとずっと高価だったりしますよね。皆さんは「メガネって…なんでこんなに値段に幅があるんだろう？」って疑問に思いませんか？それは眼鏡業界の長い歴史と業界特有の様々な事情があるためです。イチ眼科医の私がその全てを把握している訳ではありませんので、これ以降の文章は僕の個人的な意見となりますが…今回のフジタガンカニュースでは、メガネ業界のヨモヤマについて僕なりの噛み砕いた解説を試みたいと思います。

あくまでも個人的な意見(☺しつこい様ですけど(笑))ではありますが、メガネ店は大きく5つのグループに分かれます…

①**チェーン店 A**(オグラメガネ、アサクラメガネ、イキメガネなど)☞大学病院の眼科への出張なども行う医療的な側面を担当している事を踏まえた老舗のメガネ店。社内研修なども充実しており、スタッフさん達は一定の眼科的な知識も持ち合わせています。そのため、直接の眼鏡作成以外の社員教育、設備に掛かる投資などが必要となるため価格面ではやや割高な商品となってしまいます。また、価格が高く精度の良いレンズの調整などは高度な技術を要するため、こうした店舗のスタッフでないと合わせることができません。ただ、このグループも細かい事を言うとそれぞれに傾向があり、最近のイキさんなどは比較的⑤(後述)に近い方向性なようです。

②**個人経営のメガネ店**(眼科クリニック併設を含む)☞昨年閉店しましたが当院に併設していたフジタメガネさんと凸凹眼科さんに併設の〇×オプティカルとか…さらには昔から街中に店舗のある〇〇メガネや眼鏡の△△など…チェーン展開しないという事は扱うレンズ・メガネの数は少なく、仕入れ値その他の値段は割高となるため、メガネそのものの価格も①よりさらに高額な傾向があります。また、個人でやられている高齢な店主さんは経験値による処方の上手さはあるものの、新しい技術や新しい商品に対しては知識不足・経験不足となる傾向があります。また、他人の処方経験を参考にすることができないため持論の処方論から抜けられない事も多いようです。つまり相性がハマるとバッチリなメガネとなり他店でメガネを作れないくらい心酔してしまいますが、万人受けは難しく相性が合わない人にとっては「全くダメ」という事もあるようです。

③**チェーン店 B**(メガネドラッグ、メガネストア、バリミキ、メガネのアイガン、メガワールド、八王子眼鏡院、HORIZON など)☞①②しか存在しなかった昭和時代に、メガネ価格をディスカウントすることで業界に風穴を開けた革新的なグループ(とその類似店)ですね。簡単に言うと①と④の中間というか、社員研修などもある程度はするけれど①に比べると割り引いた(笑)感じの技術、メガネ本体もスタッフの質もメガネの値段も「良くも悪くも中間地点」。価格を抑えるために省くところは省いています。現在は④との差別化を図るべく、アパレル系のデザイナーズブランドのフレームに力を入れている様子、アルマーニとかグッチとかですかね…(激安よりも、ちよっぴりリッチ?)。また、昭和のころにTVコマーシャルを打っていたお店が多い事もこのグループの特徴でしょうか。現在は④(後述)に押されて多分非常に経営的に苦しい状況を強いられているのもこのグループで、③としては①に入り込みたい(≒眼科医との連携を強めたい☞これも④との差別化のため?)ようなのですが、我々としてはそれにはちょっと技術的に不安が…。結局、技術力には個人差があったりするので、中には「できるスタッフ」もいるんでしょうけど大枠の判断として①と③は分けて考えたいですね。(☞そうでないと、判断の基準を失ってしまうのです。逆に言えば①の中にも「頼りにならないスタッフ」は当然いると思いますからね。)

④**チェーン店 C**(Jins、Zoff、眼鏡市場、アドメガネ、JEYES など)☞価格を抑えるために、社員研修を省いています。極論を言うと…アルバイトの店員さんが機械測定で決定した度数のレンズをチョイス、マニュアル通りにメガネを作成すれば就職初日でもメガネが作れてしまう(笑)。最近では機械の精度がかなり良いので…「若くて、軽い近視のみで、目の病気が全くない方」であれば「それでも十分見えてしまう」のです。価格面での強みは大きいようで、現在のメガネ業界では商売として隆盛を極めるに至っています。ただし「所詮安い価格にはそれなりの理由がある」と

考えるべきですね。フレームもデザインには気を使っていますが極力ディスカウント！作りがやや安っぽいと言っては失礼かもしれませんが…僕個人の印象はそんな感じです。フレームについては自社製品がメインですので、その製造過程でもディスカウントしているのでしょう。メイン使用のメガネをお持ちで、予備や遊び感覚でのメガネをという位置づけではアリかなと思います。また簡単な度数であればレンズ加工を即日で作ってくれちゃうのもこうした店舗の特徴ですね。僕にも経験がありますけど「入試前日にメガネが壊れて…」なんていう時(実は東京医大の入試の前日に、眼鏡を自ら踏んづけて壊してしまい23歳にして本気で泣きそうに(笑)になりました。アロンアルファで応急措置をして事なきを得ましたが、強い緊張状態のさなかでの突発的なトラブルの代表例として「眼鏡破損」は「あるある」ですよ…。)には、こうした店舗がある事は有難いですよね。その日のうちにメガネが受け取れるというのは他に代替できない大きなメリットです。

⑤**お洒落な高級フレームの専門店**(オブティションロイド、リユネット・ジュラなど、青山・表参道に多いショップ)☞ファッション雑誌のモデルさんか？というようなフレームを売っているお店。海外のブランドが多く価格は高め。ただし単にフレームそのものの仕入れ値が高価なだけかも？。度数を合わせてメガネの機能を…というよりは「1にファッション2にファッション！」という感じでしょうか。指輪、ネックレス、腕時計、メガネという感じの位置づけですよ。ただし、デザイン的にはメチャクチャカッコいい物があったりするので、その辺を納得した上であればアリだと思いますけど。大まかにはこんな感じです。(※和真メガネさんと東京メガネさんは①と③のさらに中間のような…？明確に分類するのが困難な店舗についてはノーコメントとさせて頂いております、ご了承下さい<(\_>)⑤についてはファッション重視のメガネなので目的が違っていて…①-④でどのメガネ店をチョイスするか？という事がポイントになります。昨今は商売の競争が激しい事もあるのか人材の流動化が激しく、例えば①で研修をしたベテランが、何らかの事情(☞上司とのウマが合わなくて退社、しばらく別業界で職を転々とした後たまたま見つけた求人情報でメガネ業界に復帰とか)で転職し④に潜んでいたりします。そうするとかなりの技術力があるので「たまたまその患者さんのツボにハマる」と、我々からすると「おお！やるな！」なんて難しい処方をピタッと決めちゃっている事もあったり…また、②は①で研修をして独立したり、先代がいて修行のために①に就職してしてから②に戻ってきていたりするので、そんな④に隠れている腕の立つ人に近いんですけど、結局イチ個人でやっている事なので(☞隠れ④も同様ですが)「当たり外れが大きい(※②での解説を参照)」のです。基本、技術のある人は①の出身だとするならば、むしろそこで社内評価が高くて生え抜きて残っている人の方が高い技術力があると考えるのが妥当でしょう。辞めるのにはそれなりに理由がある訳ですから。まあ、ある程度の経験値と技術力がある上で野心を持って独立したとしても、自分一人の世界に閉じこもらずに周囲の同業者と情報交換をしながら技術を磨いていく必要はあるのですよ、時代と共にプロダクトと処方理論は変化し続けていく訳ですからね。次号に続きまーす(へ〇へ)／。

## 今月のお知らせ

11月1日(金)午後、11月2日(土)は院長が臨床眼科学会に出席するため、当院は休診となります。ご迷惑をお掛け致しますが、宜しくお願い申し上げます(´\_`)。



<http://www.fujita-ganka.com>



FUJITA-EYE-CLINIC

# 藤田眼科

エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)

# P-Vision

① **042**  
**(645)**  
**0575**  
① **042**  
**(642)**  
**2911**